

ぶらっと通信

HP：おい町里山文化交流センター [検索](#) おおい町立名田庄図書館 [検索](#)


〒917-0382 福井県大飯郡おい町名田庄久坂3-21-1 ◆名田庄公民館 ☎0770-67-3250 ◆名田庄図書館 ☎0770-67-3703
(開館 9:00~22:00) (開館 9:00~18:00)


1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

 は休館日です。

 は図書館のみ休館です。

閉館中の図書の返却について
ぶらっと正面玄関横の返却ポストをご利用ください。
CD、DVD、町外から借りた図書は、開館中にカウンターへ直接返却してください。

福袋

蔵書整理日と蔵書点検作業に伴う図書館臨時休館について

1/23(木)は蔵書整理日、2/17(月)~21(金)は蔵書点検作業のため、図書館のみ休館します。

公民館は通常どおり開館します。※2/18(火)は全館休館日です。



1月の行事予定

- 4日(土) 9:00~ 《本日より開館(図書館は5日より開館)》
- 8日(水) 13:30~15:30 布絵本の会【図書館】
- 9日(木) 10:30~11:30 出張図書館(あつとほ~むいきいき館)【図書館】
- 9日(木) 9:00~11:30 行政相談【貸館】
- 15日(水) 10:00~12:00 人権相談【貸館】
- 16日(木) 16:20~16:30 おはなしのへや(幼児向け)【図書館】
- 18日(土) ~ 19日(日) ★里山青年未来塾(青年リーダー研修)
場所/あまご山会館(下) 定員/10名程度 【公民館】
- 23日(木) 10:30~11:30 出張図書館(あつとほ~むいきいき館)【図書館】

《出張図書館》

あつとほ~むいきいき館で図書の貸出をします。見るだけでも大歓迎です。

日時:1月9日(木)・23日(木)

それぞれ 10:30~11:30

※図書カードをお持ちでない方はその場でお作りします。免許証・保険証などをお持ちください。

《里山青年未来塾》

青年リーダー研修会に参加しませんか?

日程:1月18日(土)~19日(日)

場所:あまご山会館(下)

定員:10名程度

みんなで食べて喋ってこれからの名田庄について

気楽に語り合いませんか(^_^)

詳しくは、公民館まで!

★マークは、事前に申込みをお願いします。

※日程は都合により変更する場合があります。最新の情報は館内掲示やホームページをご覧ください。



NPO 法人森林楽校・森んこ代表

《萩原 茂勇さん》



この欄では、「あなたにスポット!」と題して、いろいろな活動をしている方にご登場いただき、紹介しています。今回は、納田終の無住集落「老左近」(おいさこ)の活性化を目指し、プロジェクトメンバーとして奮闘されている、「NPO 法人森林楽校・森んこ」の代表者、萩原茂勇さんを紹介します。

大阪生まれ大阪育ちの萩原茂勇さん。大学卒業後、会社勤めをしていたものの、木や森に強く関心を抱くようになり、おりしも、当時名田庄村森林組合が職員募集しているのを見つけて応募。「山の仕事のことは全く何も知らない」と面接で正直に話したところ、見事に不採用。それでも翌年再度応募し、晴れて採用され、平成9年より家族で名田庄(中)へ移住してこられました。

山の仕事に就きながら、森林インストラクターの資格を取得。山や川で遊ぶ経験が少なくなった子どもたちの実態を知り「こんなに自然に恵まれているのにもったいない!」「もっと山を満喫しよう!」というコンセプトのもと、賛同者を得て、平成16年にサークル『森んこ』を立ち上げ、地域の子もたちと山や川へ遊びに出かける活動に取り組みされました。(平成17年にNPO法人『森林楽校・森んこ』となり、現在会員17名)

子どもたちの感性をまるごと受け止め、温かく接してくれる萩原さんはみんなから慕われ、愛称“chichi”(父)と呼ばれています。「子どもたちの気づきはおもしろいしボク自身も大変楽しませてもらっている。勉強になるで〜」とおおらかな笑顔で話される萩原さん。そして「体験を通じて“楽力”(がくりよく)“楽しみの力”をつけることにより、今の自分よりも、一歩前に進めるようになりたい。」「普段の生活をもっと潤すような楽しみのある暮らしを多くの人と分かち合いたい。もっと地域のみんなで楽しみたい!」と『人育て』につなげていくことを語られました。



茅葺き屋根がよみがえった「集楽庵」

萩原さんが初めて仕事で入ったのは納田終の老左近の山でした。数年後、仕事帰りにふと気になったのが、ポツンとたたずむ一軒の荒れ放題の茅葺き屋根の古民家。それからは、自然体験活動の拠点として借りることができないだろうか毎週のように茅葺きの家を足運んだそうです。家主の方や地区との話し合い、さらに町や県にも出向き、山や川の自然保護、老朽化している空き家の保全など、萩原さんは熱い思いをずっと伝えて来られました。

今から11年前、補助金により、念願の茅葺き屋根の葺き替えができました。地域への行事参加や、活発に自然体験活動を繰り返していき中、周囲の認知度が高まり、スタッフやボランティアなど、協力してくれる人がどんどん増えていきました。これまでの長い道のりが、地域の方々との温かい信頼関係につながったのでしょうか。さらに納田終区の皆さんを始め、有志の方々、町、京都大学大学院の小林教授や学生の方とも連携し、平成29年より「夢充集楽(むじゅうしゅうらく)プロジェクト」が始まりました。

令和元年7月、老左近の空き家を改修し、コミュニティハウス『よざえもん』のお披露目がありました。県外に住んでおられる家主の方は、懐かしい趣を残しながらも新しく生まれ変わった我が家(トイレ・お風呂・キッチンなど改修)をととても喜んでおられるそうです。

「最初の2年間くらいは、毎日毎日草刈りばかりやっとなって!」と、楽しそうに開拓時代を振り返る萩原さん。そして、「夢充集楽プロジェクト」の将来イメージ図を片手に「何故、ここ(老左近)なんやろね〜自然な流れで来ている感じがする。なんか知らんけどここに引き寄せられたんや。名田庄というこの土地でボク自身が育てられていて、楽しませてもらっている。」とひとりごとのようにつぶやかれました。

「福井ふるさと茶屋『よざえもん』のオープンセレモニー(11月)で知事さんにお会いしたときにも話してたんやけど、この事業は今、次の世代に受け渡す準備のときやと思う。自分たちが整備してシンプルに伝えていってそれを若い世代が工夫してまた次へ伝える。100年経って初めてボクらのやってきたことが評価されるんやろなと思う」...

老左近の100年後に思いを馳せる萩原さんの熱い情熱は、地域に根差し、まだまだ続きます。



コミュニティハウス「よざえもん」

「よざえもん」でおもろつき!

※萩原さんは2014年に森林組合を退職され、現在は地域活性化に専念されています。
※コミュニティハウス「よざえもん」利用問い合わせ先 090-2122-9393 (ハジ) 氏

小浜警察署・名田庄駐在所より

注意

- ◆タイヤの盗難に注意!
交換後のタイヤは戸外に放置したままにせず必ず片付けてください!
 - ◆雪道は、急ブレーキ・急発進・急ハンドルをしないよう、安全運転をお願いします。
- 事件発生時・連絡先...0770-52-0110



☆公民館雑記帳☆お正月に向け、母子福祉会の皆さんのフラワーアレンジメント教室がありました。華やかなのは作品だけでなくお口のほうも! (笑) きっとお正月も作品を飾られ、笑顔いっぱいでお迎えのことでしょう! ▼今年も一年ありがとうございました▼皆様にとって来年がよい年でありますように▼



力作がなりました!

館内行事より

◆きらきら寄席◆ (12/1)

(名田庄公民館生涯学習推進委員会事業)

今回のきらきら寄席は天光軒新月さんの浪曲口演がメイン。プログラムはお馴染みの「月見亭だんご」さんの落語から始まり、浪曲の構成演出（芦川淳平さん）の解説や、天光軒新月さんの口演と対談があり、来場者はもりだくさんのプログラムを楽しみました。



◆ハーバリウム教室◆ (12/8)

(名田庄公民館生涯学習推進委員会事業)

ガラスの小瓶にプリザーブドフラワーやドライフラワーを入れて、保存用の専用オイルにつけるハーバリウム教室を開催しました（講師・東美香さん）。小物の入れ方でイメージも変わり、参加の皆さんは、楽しみながら、クリスマス用☆お正月用のおしゃれな置物を完成させていました。中には、おじいちゃんおばあちゃんと参加の小中学生もあり、和やかなほほえましい雰囲気でした。



◆ミニ実験と科学のお話会◆ (12/8)

(図書館事業)



小学生を対象にした、ミニ実験と科学のお話会。今回は「飛ぶ」がテーマ。絵本「とぶ」の読み聞かせの後、パラシュートやカエデのタネのように飛ぶおもちゃを作って遊びました。また、「ガマの穂」の爆発!?を見てビックリ。子どもたちは歓声をあげ、興味深々の様子でした。

◆ブランケットファミリークリスマス会◆ (12/15)

(貸館)



「ブランケットファミリー」（絵本の読みがたりやお話、工作遊びなどの図書ボランティアグループ）主催のクリスマス会がありました。絵本の後には工作、クレープのおやつ作り、クラリネット演奏（小浜警察署勤務増田さん/元警察音楽隊）やパネルシアター…最後にはサンタさん登場♡プレゼントももらい、ひと足早いクリスマスをみんなで楽しんでいました。

名田庄図書館 2019 年ベスト本

貸出回数No.1 『一切なりゆき～樹木希林のことば～』 樹木希林

雑誌インタビューや対談記事から厳選した樹木さんの154の名言がのっています。樹木さんが2018年9月に亡くなられてから、樹木さんの関連書籍が数多く出版され、どの本もよく借られました。

児童書では、『角川まんが科学シリーズ どっちが強い!?』が大人気！能力の近い動物同士の対戦を、大迫力のオールカラーまんがで描くシリーズで、全巻読破している子も。何冊も上位にランクインしました。

川柳コンクール

（入選）①

「田舎」前川正子選
「時代」香川亮選
「さわやか」前田和子選

「田舎」

住んでみて田舎の良さが分かるから
野尻塚本朝子

「田舎」

田舎通蛇がヨロリと通せんば
虫鹿野中森志津江

「田舎」

田舎にはいい人多くいるんだよ
本郷小学校 藤本ひより

「時代」

容赦なく時代の波は押し寄せる
小坂吉田眞里子

「時代」

新時代新たな目標決めてみる
名田庄中学校 野鳥三鈴

「時代」

古タンス時代遅れの服ねむる
久坂 森本フミ子

「さわやか」

さわやかな潮の香りと海の色
大飯中学校 桑田楓

「さわやか」

駆け抜ける少女レモンの香を残し
下森口敏江

「さわやか」

ランドセルおってあるくあさのみち
名田庄小学校 やましたせりか

【新しい本】こども向け

◆ものがたり◆

- 『きみひろくん』いとう みく
『今、空に翼広げて』山本 悦子
『あした、また学校で』工藤 純子
『この海を越えれば、わたしは』ローレン ウォーク

◆しらべる・ちしき◆

- 『そうだったのか!給食クイズ100』松丸 奨監修
『となりの難民』織田 朝日
『食品ロスの大研究』井出 留美
『ふゆとみずのまほうこおり』片平 孝写
『いつ?どこで?ビジュアル版巨大地震のしくみ』
佐久間 博

新着本は、図書館入口の掲示板でも公開しています。
図書館のHPから、検索や予約もしていただけます。

◆えほん◆

- 『なんでもモッテルさん』
竹下 文子文 アヤ井 アキコ絵
『ふとんがふっとんだ』新井 洋行
『ふたりのパパとヴィオレット』エミール シャズラン
『おなべさんとおたまちゃん』
宮本 えつよし作 国松 エリカ絵
『ノラネコぐんだんカレーライス』工藤 ノリコ
『イヌと友だちのバイオリン』
デイビッド リッチフィールド
『月でたんじょうパーティーをひらいたら』
ジョイス ラパン文 シモーナ チェッカレツリ絵

【新着本】一般向け

◆小説・エッセイ◆

- 『いもうと』赤川 次郎
『ツナグ 想い人の心得』辻村 深月
『背中蜘蛛』菅田 哲也
『怪談飯屋古狸』輪渡 颯介
『信長家臣明智光秀』金子 拓
『星と龍』葉室 麟
『主殺しよこやり清左衛門仕置帳』平谷 美樹
『短歌の詰め合わせ』東 直子
『カエルの小指』道尾 秀介
『風神雷神 上・下』原田マハ
『私に似ていない彼女』加藤 千恵
『深夜高速バスに100回ぐらい乗ってわかったこと』
スズキ ナオ

◆趣味・実用書◆

- 『おかずがいらぬごっついスープ』きじま りゅうた
『基本調味料で作る鍋』市瀬 悦子
『明智光秀ゆかりの地を歩く』サンライズ出版編
『寝ながらできる認知症予防 1』余暇問題研究所
『農業新時代 ネクストファーマーズの挑戦』川内 イオ
『世界一美味しい手抜きごはん』はらぺこグリズリー
『新しいタンパク質の教科書』上西 一弘監修
『川崎病』三浦 大
『日本一の洗濯屋が教える間違いだらけの洗濯術』
洗濯プラザーズ

もし国宝「風神雷神図屏風」を描いた俵屋宗達が天正遣欧使節の一員として、ルネサンス期のイタリアに降り立っていたら。美術小説の名手・原田マハが、歴史に残された0.1%の可能性から大胆な発想で魅せる壮大な物語。

◆ノンフィクション◆

- 『令和誕生』読売新聞政治部
『投げない怪物 佐々木朗希と高校野球の新時代』
柳川 悠二
『探検家とペネロペちゃん』角幡 唯介
『世界の少数民族』イアゴ コラッツァ他

遊牧生活を続けるラバーリー、マンガライの華麗な戦争儀式、来訪者を歓迎しないモロカン派…。写真家と作家が、二人三脚で世界の少数民族を訪ねた貴重な記録。

◆その他◆

- 『87歳と85歳の夫婦』神津 善行 中村 メイコ
『夫のトリセツ』黒川 伊保子
『愛という名の支配』田嶋 陽子
『古民家への道』松井 郁夫
『データの世紀』日本経済新聞データエコノミー取材班
『反日種族主義』李 栄薫
『偽善者たちへ』百田 尚樹

◆◆貸出・予約の多い本◆◆(R1.11~R1.12)

◆貸出◆

『食えなんたら食うな』/ 関 大徹

◆予約◆

『マチネの終わりに』/ 平野 啓一郎

☆図書館雑記帳☆ 雑誌『ダ・ヴィンチ』の「BOOK OF THE YEAR

」では、毎日のように出版される多くの本から、本好きの皆さんが選んだ今年の一冊を発表しています▼図書館では、特集コーナーを作っています▼ぜひ、お立ち寄りください▼1年間図書館をご利用いただきありがとうございます▼年始は5日(日)から開館します▼どうぞ良いお年をお迎えください。